

森のフィールドワークとワークショップ

PART 1

「森から見る工芸 —素材から道具が生まれるまで—」@ 京丹波町

講師：工芸の森 / 高室幸子、高室久志

工芸は、身近な自然に触れ、「これは何に使えるだろう」と考えることから始まります。本プログラムでは、森を歩き、木や竹などの植物を観察・採集し、その性質を手がかりに道具や暮らしの中での用途を想像しながら「かたち」を立ち上げていきます。自然と人との関わりから生まれるもののづくりの過程を体験しましょう。

日時 9月19日(土)、20日(日) 各日とも 10:00 ~ 16:00

雨天の場合は、9月21日(月・祝)、9月27日(日)に順延

会場 ウィードの森 (京都府立須知高等学校内 学校林)

定員 各回 10名 (小学生以上 ※低学年の場合は保護者同伴)

参加費 500円

申込みはこちらから

詳しくは裏面をご覧ください。



タイムテーブル

- 10:00 ~ 12:00 森のフィールドワーク
- 12:00 ~ 13:00 休憩 (昼食)
- 13:00 ~ 15:20 ものづくりワークショップ
- 15:20 ~ 16:00 振り返り、終了

※タイムテーブルは変更する場合がございます。

講師・アーティストプロフィール、
会場マップ、お申込み方法については
裏面をご覧ください。

PART 2

展示/ワークショップ/トーク

「町から考えるアート —道具がアートに変わる時—」@ 福知山市

アーティスト：UP² / 石井潤一郎、梶原瑞生、おーなりりゅうじ、太田恵以

漆芸の材料である「丹波漆」と漆掻きの現場で組まれる足場「やぐら」を手がかりに、ものづくりの背景にある環境や営みに目を向け、工芸と暮らしのつながりを探ります。丹波漆を用いたコンテンポラリーアートの作品展示のほか、私たちの暮らしと資源の循環について見つめ直す創作ワークショップやトークイベントを開催します。

展示「町から考えるアート」

「丹波漆」の研究をもとに制作された URUSHI PROJECT の作品を紹介します。工芸特有の素材や技から展開されるコンテンポラリーアートの見どころや魅力を楽しみましょう。

会期 10月24日(土) ~ 11月15日(日)の
木・金・土・日曜日オープン

時間 11:00 ~ 16:00

会場 シンマチサイト
(福知山市新町商店街内 旧さいとう家具店)

入場 無料

出品作品 URUSHI PROJECT《漆塗りのウルシの木》ほか

会期中、右記のイベントを開催します。

申込みはこちらから

詳しくは裏面をご覧ください。



●会場はいずれもシンマチサイトです。



©URUSHI PROJECT

◆オープニング交流会

申込み不要・無料

日時 10月24日(土) 17:00 ~ 19:30

※17:00 ~ アーティストトークもあります。

◆アーティストトーク

申込み不要・無料

福知山市夜久野や大江でのリサーチを重ねてきた UP² のアーティストが、展示やプロジェクトについてお話しします。お気軽にお立ち寄りください。

日時 10月24日(土) 17:00 ~
10月31日(土) 14:00 ~

◆ワークショップ「道具がアートに変わる時」

要申込み

生活様式の変化によって工芸品の役割やあり方も変化し、自然素材に代わって広く使われるようになったプラスチックに目を向けて創作ワークショップを開催します。日常の生活から出る不要なプラスチックに新たな価値を見出します。

日時 10月25日(日)

①10:00~12:00

②14:00~16:00

定員 各回 15名 (小学生以上)

参加費 300円

タイムテーブル (各回共通)

- ・素材の扱いと加工の練習 (40分)
- ・自由制作 (50分)
- ・作品発表 (30分)

※タイムテーブルは変更する場合がございます。

◆トークイベント

要申込み・無料

夜久野でのリサーチをもとに作品を制作する UP² のアーティストやゲストを囲んで、海外での作品制作・発表のプロセスをはじめ、本プロジェクトについて語ります。

日時 ①11月1日(日) 14:00 ~ 15:30 「グリーンな暮らし」

ゲストスピーカー：浅利美鈴 (総合地球環境学研究所 副所長・教授)

②11月15日(日) 14:00 ~ 15:30 「工芸の思考を拡張する」

定員 各回 20名